

## 天井から「造形の持つ力」への小さな旅

12月9日（土）校長先生、遠藤宏紀先生、大久保先生と新妻健悦先生が主宰する石巻のアトリエ・コパン美術教育研究所（※この名前に意味があったのでですね）を訪問しました。新妻先生と吉川校長先生にご縁があり、今回そのご縁を利用させていただいての石巻訪問となったわけです。※ちなみに新妻先生は鱒陵（地元で石高をこう呼ぶ）のOBでした。

遠藤先生の運転する自家用車で石巻へ。予定よりも早く着いたので、4人で名勝「日和山」を訪問しました。天気もよく遠くに田代島や網地島を見ることもでき、ちょっとした「一友旅行」のような気分を味わいました。お昼は知る人ぞ知る「大王」か、地元の銘店「友福丸」かの二者択一で悩んだ末に「友福丸」で天井に舌鼓を打ちました。

そしてお約束の12時30分。いよいよアトリエ・コパン訪問です。

まず、アトリエに案内されて、その圧倒的な作品の数と空間構成に驚きました。

新妻先生と奥様の悦子様から、アトリエ・コパンでの活動の概要について作品を例に丁寧に紹介していただきました。私が特に心に残ったことは

**子どもに自己肯定感を持たせることの大切さ**

**教材を開発すること**

**造形の持つ力が子どもの力を引き出すこと** についてです。



大久保先生が帰りの車の中で

「小学校でなぜ図工を行うのか、分かったような気がします」

と話していました。なるほどその通りで、図工を行う目標と目的を見失うと、図工嫌いの子どもになってしまうことも心配しなければなりません。

先週は、月曜日に宮教大の安藤先生と小針先生と「プログラミング学習」について打合せを行い、今後の方向を確認することができました。また、水曜日は同じく宮教大の原田先生から合唱の指導と講話をいただき、改めて合唱の力、子どもたちの力のすばらしさを実感することができました。このように学ぶ機会が身近にあることも附属学校に勤務していればこそ、大変ありがたく思いました。さらに、土曜日の夜にはPTA フェスティバルの打ち上げがあり、中学校の遠藤校長先生、鎌田副校長と、今までにとらわれず、小学校、中学校で連携し、どんどんいろんなことをやっていきましょう、という話で大いに盛り上がりました。

気がつけば来週は合唱の会。最近、少しだけ子どもたちと合唱に取り組んでいる先生方の姿を羨ましく思うようになっていきます。  
(文責：副校長 手代木)